

# 岐阜市新庁舎建設基本計画（案）に対する パブリックコメント手続の結果について

現在の市役所本庁舎は、昭和 41 年の建設から約半世紀が経過し、老朽化が進み、かつ大量のアスベストが使用されています。そのため、大規模地震の際、本庁舎は、建物の損傷やアスベストの飛散によって災害対応拠点として使用できない可能性が高いという防災面の課題を抱えています。さらに、利便性の面においても、本庁機能が 5 ヶ所に分散していること、いずれの庁舎も手狭であること、さらにバリアフリー対応が不十分であることなどさまざまな課題を抱えています。とりわけ、本市においても南海トラフ巨大地震の発生が想定されている中、大規模地震の際に本庁舎が災害対応拠点として使用できない可能性が高いことは喫緊の課題であると考えています。

そこで、昨年 11 月から、学識経験者や公募市民等で構成する「岐阜市庁舎のあり方検討委員会」で、新庁舎建設の必要性並びに新庁舎の機能、規模及び建設候補地を審議していただき、7 月 30 日に「新庁舎を建設することが必要であり、建設財源として合併特例債を活用すべき」、「建設候補地は岐阜大学医学部等跡地が最適地」とする内容の答申が市長へ提出されました。

本市では、この答申を踏まえ、新庁舎建設の基本的な方針とその内容をまとめた「岐阜市新庁舎建設基本計画（案）」を作成し、計画案や新庁舎建設に対する市民の皆様のご意見等をお伺いするパブリックコメント手続を実施しました。

その結果、市民の皆様から 47 通のご意見をいただきました。いただいたご意見と岐阜市の考え方は下記のとおりです。

なお、提出いただいたご意見は、意見の趣旨を損なわない程度に要約しました。また、今回の計画とは直接関係がないご意見については、市の考え方は示しておりません。

## 1 結果概要

### (1) 募集方法等

募集期間	平成 26 年 8 月 15 日（金）～9 月 30 日（火）
意見提出方法	直接提出、郵送、ファクシミリ、電子メール
計画（案）の公表場所	行政部管財課、市政情報コーナー、柳津地域振興事務所、各事務所（6 か所）、各コミュニティセンター（8 か所）、市ホームページ

### (2) 提出数、提出方法、意見数

提出数	47 通
提出方法	直接提出（13 通）、郵送（8 通）、ファクシミリ（11 通）、電子メール（15 通）
意見数	176 件

(3) 項目別の意見数

表紙	1 件
第 1 章 新庁舎建設の必要性	11 件
第 2 章 新庁舎建設の基本的考え方	2 件
第 3 章 新庁舎に求められる機能	27 件
第 4 章 新庁舎建設の基本指標	16 件
第 5 章 新庁舎の規模、建設地等	36 件
第 6 章 新庁舎の事業費、事業手法及びスケジュール	13 件
第 7 章 今後の検討課題	26 件
A. 計画案への賛否に関するもの	9 件
B. 新庁舎建設の検討経過に関するもの	13 件
C. 新庁舎建設以外に関するもの	22 件

2 いただいたご意見と岐阜市の考え方

表紙

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
1	-	表紙下段の「平成 26 年 8 月時点 岐阜市」の表記について、「時点」は不要である。また責任名は「岐阜市」に「行政部管財課」を補充すべきである。	「時点」表記は削除します。「責任者」は、岐阜市として市民の皆様からご意見を伺い、計画を策定しておりますので、修正しないこととします。

第 1 章 新庁舎建設の必要性

1 現庁舎の抱える課題

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
2	8	老朽化、耐震性など防災上の問題、バリアフリーも含めた利便性に多くの課題があることは理解できる。	基本計画に示した様々な課題を解消し、市民の皆様が安全、安心、使いやすい庁舎を実現することが必要と考えています。
3	8	庁舎を見て、老朽化、狭あい、不十分なバリアフリーなどの課題があると思いました。	

4	8	<p>(現庁舎の)解体について、大量のアスベストが使用されているため、その除去手法と安全性については、近隣住民の納得できる説明とその確実な実施を行うべきである。また、解体時期に最高に安全と思われる除去手法を導入するよう、取り決めをすべきである。</p> <p>庁舎のアスベストの飛散が危険であるなら、まずは撤去工事をすべき。</p>	<p>現庁舎のアスベスト除去工事を行う際は、それが庁舎近隣に飛散しないよう、大気汚染防止法等関連法令に則り安全性を確保してまいります。</p> <p>なお、現在使用しているアスベストには、囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置をしており、また定期的に濃度測定を実施していますので、普段庁舎をご利用いただく際は問題ありません。</p> <p>一方、「まずは撤去工事をすべき」とのご意見について、外部委員で構成する庁舎のあり方検討委員会では、新庁舎建設の必要性を検討した際、「現庁舎のアスベストを除去して継続使用した場合」と「新庁舎を建設した場合」で課題の解消状況や建設・維持管理コストを比較し、新庁舎を建設すべきと判断されました。</p>
5	9	<p>住民は市役所に行っても一度に2ヶ所3ヶ所廻ることはないので分散に関して不便さは感じない。</p>	<p>本年3月に実施した市民アンケートでは、「担当部署がどこにあるのかわからない」が約5割、「窓口が分散している」が約3割を占めており、市民の皆様にご不便をおかけしていると考えております。</p>

## 2 本庁舎を継続使用する場合と新庁舎を建設する場合の比較検証

No.	頁	ご意見(要旨)	岐阜市の考え
6	12	<p>12 ページに「新庁舎建設」の費用は10年後で220.2億円、20年後で243億円とあるが、13 ページでは新庁舎建設費200億円とあり、解説が十分でない。また、合併特例債の活用と先述の12 ページ掲載費用との関係が説明不足である。</p>	<p>P12 で示したコストは、建設費に10年又は20年の維持管理費を加えた金額を計上しております。しかし、それが伝わりにくい表現になっておりますので、わかりやすい表現に修正します。</p>
7	12	<p>P12 のコスト比較と、P56 の事業費の差額の20億円はどう捻出するのか。</p>	

### 3 新庁舎建設の必要性

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
8	14	老朽化、耐震性、アスベスト、分散等々問題を掲げて建設ありきで進めているようですが、市の厳しい財政状況を考えれば時期尚早である。	南海トラフ巨大地震の発生確率が 30 年以内に 70%程度といわれている大地震への備え、老朽化、バリアフリーになっていない、狭あいなど現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の大幅な軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期に新庁舎を建設することが最良であると考えています。
9	14	人口減少、福祉の増加、税収減が見込まれる中、20 階 200 億円かけて建築する必要があるのか。	
10	14	48 年で改築は早すぎ。改装で対応し財政を節約する。	
11	14	現庁舎の改修による長寿命化への可能性を精査するなど事業の必要性等について十分な検討が必要。	
12	14	（本庁舎は）建築当時すでに耐震化は考慮されており、巨大地震でない限り永久的維持への可能性がある。また天井のアスベストも、建物が破壊されない限り心配は不要である。したがって、数十年ないし 100 年前後は維持可能であり、その後改築しても遅くはない。	本庁舎について、平成 7 年度に実施した耐震診断では一定の耐震性を有していると判定されました。しかし、東日本大震災の事例からすると、倒壊は免れたとしても、内外装、配管や設備類が損傷して建物が使用できなくなり、災害応急対策、復旧・復興業務等が実施困難や遅延するおそれがありますので、建替えは必要と考えています。

## 第 2 章 新庁舎建設の基本的考え方

### 3 基本方針

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
13	22	豪華な建物を市のシンボルとするような時代ではなく、環境やエネルギー問題などが中心となる時代の要請に応えるものにするという基本理念が十分語られているのかどうか。	ご指摘いただいた環境問題を踏まえて市庁舎を建設することは重要な視点であることから、その趣旨を「基本方針(2)周辺環境との調和、環境負荷の低減」に追記します。
14	22	質実剛健、シンプルで使いやすい市役所を造るべき。	機能性を重視しながらも建設コストの縮減に努めます。

### 第3章 新庁舎に求められる機能

#### 1 窓口サービスなどの利便性等の向上

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
15	25	職員の顔が見える市役所になると市民はうれしい。	窓口業務の集約配置やワンストップサービスの導入など、来庁者の皆様が気持ちよく用件が済ませられる新庁舎の建設を目指します。
16	27	一般開放する食堂は、レストランとしても魅力ある場所として企業を誘致するぐらいが良い。集客が見込まれ、また食事が改善することで職員のモチベーション向上も図れる。 また（新庁舎と）メディアコスモスとの間にオープンカフェ形式のテーブルやテラスがあれば、見た目にも楽しくなれる。	食堂については、庁舎周辺での立地状況を勘案しながらその機能等を検討してまいります。 また、新庁舎とメディアコスモスの間は、様々なイベント等に利用できる「憩い・にぎわい広場」として整備されます。
17	27	福祉でお世話になっている自分にとって本庁舎の階段は不便です。	現在はたいへんご不便をおかけしておりますが、新庁舎及び敷地内は、誰もが安心、快適に利用できる、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を進めます。
18	28	身体障がい者用駐車場は本当に必要なのみが利用できるようにする。また、屋根付きにする。	車いす利用者の方の駐車場は、庁舎入口に近いエリアに設置し、合わせて雨雪をしのぐことができる「ひさし」や「シェルター」の設置に努めます。
19	28	広い駐車場を確保してください。	現在、来庁者用駐車場は約 270 台分ありますが、新庁舎では約 390 台を整備し、混雑の解消を図る計画です。なお、駐車場の形態については立体駐車場を考えています。

## 2 周辺環境との調和、環境負荷の低減

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
20	30	市役所はシンプルで機能的、実用的な建物であれば十分である。少子高齢化・税収減が予想される中、維持管理コストまで意識したデザインや素材選びをすべきである。そうすれば自ずと建築予算は100億円内外に落ち着く。	<p>建物は、機能性を重視しながらも、周辺環境や景観形成との調和にも配慮し、市民の皆様が親しみをもてるものにしていきます。</p> <p>なお、建物本体工事は、近年新庁舎を建設した他都市の事例を基に検討した工事単価等から仮試算して約160億円を想定していますが、可能な限り事業費の縮減に努めます。</p>
21	30	新庁舎は簡素なものにする。	
22	30	ハデなものは不要だ。	
23	30	新庁舎は、バックの金華山等、景観にマッチした観光都市に相応しいデザインの建物でなければならない。	
24	30	1階エントランスホールは、芸術文化都市に相応しい格調高いインテリアを、正面玄関前の1～3階部分は岐阜市を象徴するインテリアを施し、建物自体が観光に価する岐阜市のシンボルにしてほしい。	正面玄関とロビーは、来庁者を迎え入れる空間として、明るく、開放的で、しかも岐阜らしさを感じられるデザイン等を考慮します。
25	30	通常の市役所業務フロアのほか、芸術文化を向上するため、市民が利用する文化小劇場、市民ギャラリー、生涯学習センター等を確保してほしい。これに関し、名古屋市中区役所ビルが参考となる。	新庁舎に隣接する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」には、市民の皆様の文化活動の発表の場である展示ギャラリーや多目的ホールが整備されますので、ご指摘の機能はメディアコスモスが主体となります。
26	30	手作り館（伝統工芸等製作風景を見せる→体験できる→育成所）を設置し、市民が参加できる場所にする。	新庁舎に設置する市政情報コーナーで、岐阜市の伝統工芸等を紹介することは考えられますが、限られた庁舎空間の中で「手作り館」を設置することはむずかしいと考えます。
27	30	庁舎予定地は避難広場を兼ねた緑豊かな公園を備える。	新庁舎に隣接する「憩い・にぎわい広場」には、せせらぎの並木 テニテオ、市民広場等を備えた“まちなかの親樹空間”が来年夏までに整備されます。
28	30	岐阜市の地下水位がわかるモニュメント（電光掲示板）を備えた、水に親しむことができる市民広場をつくることで、市民に岐阜市の地下水に関心を持ってもらいたい。	<p>地下水の活用について、新庁舎では、水道供給の途絶に備え井戸を整備することを考えています。</p> <p>また、隣接する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」において、地下水を汲み上げて冷暖房に活用し、またその排水を「憩い・にぎわい広場」のせせらぎに流す取り組みを行います。これにより、市民の皆様が地下水を知り、親しむ機会を創出します。</p>

29	30	(建物に)太陽光を取り入れる。このことで、明るく開放的になり利用者にストレスを与えず、蛍光灯などの電気量が低減できる。一方、太陽熱による環境変化には二重窓など断熱効果を取り入れることで空調への負荷も低減できる。	新庁舎では、市が定めた「環境アクションプランぎふ 2012」や、国が定めた「官庁施設の環境保全性基準」を考慮しながら、環境負荷の低減及び周辺環境の保全の取り組みを進めます。
30	30	岐阜県産の木材 100%の木造の庁舎にして欲しい。	新庁舎に必要な機能を確保するため、その延床面積は約 41,000 m <sup>2</sup> を想定していますが、現在の敷地条件では、この規模を木造で建築することは法律上できませんので、建築可能な構造を採用します。
31	30	木の国、山の国岐阜の特色を生かし、高齢者や障がい者等が利用しやすく、取壊しの費用や時間が短縮できる等を考慮し、2階建てまでの木造低層建築としてはどうか。	

### 3 非常時優先業務及び復旧・復興業務拠点としての機能強化

No.	頁	ご意見(要旨)	岐阜市の考え
32	33	大災害発生時に司令塔となる、最先端設備を備えた防災対策室が不可欠である。	災害発生時に設置する災害対策本部は、市内の被災状況を的確に収集し、迅速に指揮命令等を出すことができるよう、情報通信設備機器、専用の電話回線、大型モニター等の設備を備え付けることとしています。
33	33	大震災時など市民が避難し集まれるスペースはあるか。	大災害時においては、庁舎は災害応急対策等の司令塔としての機能を担います。
34	33	行政執行上必要な施設はすべて 20~25 階の超高層ビルに収め、空いた敷地はすべて無料駐車場とすべき。大災害発生時は、避難場所、ボランティア等の受け入れ活動拠点、資機材置き場等で広い空間が必要となるため、防災上の観点から駐車場にしておくべき。さらに、柳ヶ瀬ににぎわいをもたらす副次的な効果も期待できる。	なお、庁舎周辺の避難所としては、子ども・若者総合支援センター(旧明德小)、岐阜中央中学校をはじめ複数あります。

### 4 執務環境の柔軟性・効率化

No.	頁	ご意見(要旨)	岐阜市の考え
35	35	フリーWiFiを活用し、利用者への庁舎案内や自治体ニュースの配信を行う。また、職員専用ネットワークを構築し、場所に制限されず、フレキシブルに職員が作業できるようにする。	WiFiを含む庁舎内のIT導入方向については、現在、行政内部でプロジェクトチームを組織して検討を進めていますが、それに基づき設計時に考慮します。

36	35	市役所内に保育所を設置し「女性が働きやすい職場」をつくることで女性の離職率を下げ、将来的に女性管理職を増やす。 市役所が男女共同参画のモデル事業所であるアピールをする。	本年度は、現在の待機児童数が0人であり、また新庁舎建設地の周辺には京町保育所、その他いくつかの私立保育園が立地し、それを活用することができますので、新庁舎内に保育所を設置する必要性は低いと考えています。
37	35	新庁舎で仕事をする職員には、最大限働きやすい快適な執務環境を整えてほしい。各フロアの空間は仕切りをつくらない、棚を並べて視界を遮るものは一切置かずに見通しを良くするなど。	執務環境は、間仕切のないオープンフロアの採用、機能的な執務空間のレイアウト、業務上のつながりを考慮した課の配置などを行い、その柔軟性や効率化を目指します。
38	35	市長、特別職、幹部職員も基本的には個室をつくらせない。来客や機密保持が必要なら、共用の応接室や会議室を使うか、低いパーティションで囲えばよい。	市長室等については、機密性やセキュリティ等も勘案しながら整備を進めます。
39	35	議会関係も、市長など特別職と同様、執務空間で特別扱いすることなく、議会会議室等も広さ以外は極力質素にすべきである。	議会については、執行機関からの独立性の確保等に配慮しつつ、議会からの意見もお聞きしながら整備を進めます。

## 5 セキュリティ対策、電子情報保護対策の強化

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
40	36	来庁者と職員との動線・使用スペースを明確に分けるように、出入口、エレベーター、便所など来庁者用と職員用を分けて配置すべきである。	廊下、エレベーター、便所などの共用スペースについては、来庁者の皆様の利便性を優先した配置とします。職員のそれを別途設けることについては、事業費の上昇につながり、また非効率であるため、来庁者の皆様と共用させていただくことを考えています。 なお、多量の文書類、大型備品類、業務に用いる材料や資機材、廃棄物等の搬出入については、来庁者の皆様にご迷惑がかからないよう、動線を考慮します。
41	36	全ての課にカウンターを配して、部外者を事務室内に立ちらせないようにし「セキュリティ対策の強化」（36ページ）をおこなってほしい。	来庁者の対応がある課においては、通路側にはカウンターを設置した来客スペース、その後ろには事務スペースを配置し、それらを明確に区分することで、職員以外が容易に事務スペースに立ち入ることができないようにします。

## 第4章 新庁舎建設の基本指標

### 1～3 想定人口、想定配置職員数、想定議員数

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
42	38	想定人口は、業務移行処置もあるので、完成時でなく平成37年の39.5万人にしてはどうか。	新庁舎は平成33年度からの業務開始を予定し、その時点で居住する市民に対応できる業務を行う必要があることから、業務開始時に近い平成32年の数値を用いています。なお、新庁舎への移転は、移転日を設定して一度に行う予定であり、移行期間を設けることは現時点では考えていません。
43	39	想定職員数はもっと減らせるのではないか。増加要因と減少要因のそれぞれの数値を推定して設定すべきである。	想定職員数は、増減それぞれの要素を考慮した結果、今後大幅な増減は見込まれないと想定して、現状の職員数と同等に設定しました。
44	40	議員数は、13地区の各3名で計39名に減らすことはできないか。	議員定数は議会が決定する事項となりますので、基本計画では、現在の条例で定められている議員定数（41名）を想定しました。

### ◆ 都市内分権

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
(1)事務所機能の充実による新庁舎の規模縮小			
45	39	<p>司町集中型の市庁舎はいらない。新市庁舎の規模は現行並みとし、地域の各コミセンの2階建、3階建による分散型機能強化を提案する。</p> <p>その理由は、1)集中管理型では非常時に各地の災害現場に対応できない、2)高齢化社会にあってはコミセンを機能強化した方が住民利便性がある、3)民間企業は分散型管理運営を導入するなど分散化、バックデータ化が時代の要請である、など。</p>	<p>現在、地域の各事務所については、7～8割が住民票発行や税証明等の業務となっております。しかし今後、コンビニエンスストアでの証明書等の発行や、マイナンバー制度が進む中で、業務の減少が見込まれる一方、高齢社会の進展に合わせた窓口サービスのあり方などについて、現在、行政内部で検討しております。</p> <p>なお、すべての事務所で本庁舎と同等の行政サービスを提供することは、相応の職員の配置が必要となるなど、人件費等のコストが嵩むことになりむずかしいものと考えております。</p>
46	39	コミセン、事務所を一体整備し機能拡充させる。	
47	39	各事務所の機能を充実させ、中心部に巨大な施設は要らない。	
48	39	出先機関の業務分担を、住民目線で見直してほしい。	
49	39	一点に集中するより、今ある支所を充実することを基本にすべきではないか。	

50	39	分散している行政機能を集約させることには賛同しますが、出先の窓口機能を充実させ、身近な行政サービスを受けられることが第一。	
51	39	事務所機能を充実させることで市民の利便性が増し本庁舎もコンパクトになる。行政機能の配分を早急に検討すべき。	
52	39	超高齢化社会になっている中で一極に集中するものでなく、地域の支所とか分室といったものが必要である。	
53	39	そんなにでかい市庁舎を建てる必要はない。ごく中枢的部分—指令を発する、あるいは総合調整機関のみ中央におき、あとは各地に市庁舎の機能をすべて備えた建物を置けばいい。	
54	39	移動しながら通信できる時代では、職員を集めておくメリットよりも、市民から遠くなるデメリットの方が大きい。困窮する市民の元に伺うスタンスならば、職員の配置をもっと分散化し、市役所（本庁）の機能を絞り込み、規模を縮小できるはずだ。	
55	39	高齢化で（行動が）ままならない状況にあっては、パソコン、ネットを活用して今以上に支所（事務所）を充実し、地元でいろんな手続きができるようにすべきである。何でもかんでも新庁舎では時代に逆行する。	
56	39	リスクマネジメントの観点から、分断型の対応を再検討すべきである。市庁舎本体を大きくしないよう、検討を求める。	リスクマネジメントの点において、新庁舎は通常の建物の1.5倍の耐震性能を備えたものを建設する計画です。仮に分散する場合、分散先の各建物が同等の建物強度を備えていない限り、十分なリスク回避にはつながらないと考えます。
57	39	本庁舎はある程度の規模にして、例えば市内の東西南北の各地に分散する配置によりリスクの分散を行い、緊急時に対応する「避難機能を有する庁舎」の建設を計画すべき。	

## 第5章 新庁舎の規模、建設地等

### 1 新庁舎の規模、施設構成

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
(1)延床面積			
58	41	本当にコンパクトな設計なのか。	<p>庁舎規模の算定に用いている想定職員数は、行財政改革の継続、IT化の進展や人口減少に伴う業務量の減少で職員が減る要素がある一方で、高齢化による福祉、医療、介護に対するニーズの大幅な増加、さらに生活様式や価値観の複雑化、多様化、高度化に伴い基礎自治体が担う機能や役割が高まり、職員が増える要素もあります。これらの増減の要素等を考慮した結果、将来の想定職員数は現状（約1,600人）から大きな変動はないものと考えています。</p> <p>なお、図表5-1-2に示した想定配置職員数とは、本庁舎に勤務する職員数ですが、他都市の中には、広域合併した市町村の旧庁舎を出先機関で残し職員を配置しているため、総職員数は本市より多く、本庁勤務職員数は本市より少ないところもありますので、総職員数と想定配置職員数が比較できるよう、現在の総職員数等を表中に追記します。</p>
59	41	人口減少が進む中大きな庁舎は要らない。現庁舎の位置にコンパクトな庁舎を建設すれば十分である。	
60	41	将来の人口減も考えて、適正な規模、適地をもっとじっくりと検討すべき。	
61	41	庁舎の階数は20階までを想定しているが、庁舎に必要な機能、地域事務所との機能分担などを丁寧に議論すべき。8階建てにすれば事業費が1/2以下になるのでは。	
62	41	建替えの必要性は理解するが、執務スペースの共有や配分の見直しや文書保存スペースの縮減、また事務所機能の拡充によって、計画案の本庁舎規模の30%は削減する余地あり。	
63	41	（庁舎規模について）最近完成した一宮市庁は事業費が約100億円であるが、市の人口規模からみても、岐阜市は一宮市と同等で良いのではとの疑問が生じる。事業規模の妥当性を示すのが、本来のあるべき姿と考える。	
64	41	（庁舎の延床面積について）岐阜市は41,474㎡、他の同規模都市は約39,000㎡～51,000㎡と算出しているが、他都市の下限と上限の差12,000㎡は地方都市の誤差によるもので、その幅は大きすぎる感がある。しかも、その算定は都市人口数を無視して行政定員数を基準にしているが、そのこと自体に誤りがある。	<p>今回比較とした類似規模都市は、本市と同じ中核市もあれば、特例市、それ以外の都市もあるため、その権限や事務量には差異があり、必ずしも人口規模と庁舎規模が相関するわけではないと認識しています。ここでは、庁舎規模の妥当性を評価する目安の一つとして掲載しました。</p>

(3) 施設構成			
65	45	市庁舎を防災拠点とするうえで、高層化は何らメリットがない。なぜなら、高層建築は耐震性が低く、それで一般建築物の1.5倍の強度を確保するためには、大幅なコストアップや太い柱・壁などによるスペースユーティリティの低下が予想される。また、停電時は高層階が使えなくなる。	現在の段階では、ワンフロア当たりの面積や階数は決定していません。新庁舎には、建物の影が北側に位置する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「憩い・にぎわい広場」の日照へ及ぼす影響を抑えながら、必要な延床面積を確保するため、低層部と高層部で構成された建物を想定しており、高層部が最大で20階程度になると考えています。 しかし、これは、仮に算定した結果であって、現時点ではまだ階数等は決定していません。今後、新庁舎建設が決定された後、設計段階において、岐阜市庁舎のあり方検討委員会の答申や市民の皆様のご意見も踏まえ、日照への影響や周辺景観との調和のほか、関係法令による規制や市民の皆様の利便性、さらには建物の機能性や経済性など様々な要素を考慮しながら決定していきたいと考えています。
66	45	高層の建物は環境にも景観にも良くなく、時代遅れ、市民から遠い存在に感じられる。高さはできるだけ抑えるべきだ。バリアフリーやトイレを充実する以外、必要以上の広さは不要である。	
67	45	20階建て以上の高層建築物は、景観計画重要区域に指定されたエリアに隣接した地区にふさわしいデザインではない。建物の高さを再考願う。	
68	45	20階弱を想定しているとのことだが、そんな高くて巨大なビルは新図書館とは全然調和しない。まちの景色が変わったとしてひんしゆくを買った金華区域内の高いビルよりももっとひどい。	
69	45	中高層階に議会機能を配置することは、市民・議会・行政の連携強化の妨げになる。	
市民、議会、行政の連携強化は、庁舎内での配置のみならず、ソフト対策を含む様々な工夫で進めるものと考えております。			

## 2 新庁舎の建設地

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
(1)建設地の選定〔選定経緯〕			
70	47	建設候補地として現市庁舎と、建設中の図書館隣の2か所に絞り込んだ過程がよくわからない。	最初に、中心市街地あるいはその近郊で、一団の敷地又は一定規模の床面積を確保することができる評価対象地を6か所抽出しました。 次に、①市民の利便性、②機能の実現性、③敷地規模、④中心市街地活性化、⑤建設コスト、⑥合併特例債活用（合併特例債の活用期限内における建設可否）の6つの視点を当てはめ、評価対象地の相対評価を行いました。 その結果、現庁舎敷地と岐阜大学医学部等跡地を建設候補地として抽出しました。

71	47	<p>計画案では 6 つの評価対象地を掲げているので、市民による選挙を実施してはどうか。若い人の意見も必要だと思う。</p>	<p>庁舎のあり方検討委員会では、6 つの評価対象地について、市民の利便性など 6 つの視点から相対評価がなされ、最終的に岐阜大学医学部等跡地を選定し、答申をいただきました。</p> <p>なお、建設地決定にあたっては、委員会の答申に加え、平成 16 年から今日まで様々な機会を通じていただいた市民の皆様のご意見も踏まえていますので、選挙（投票）を実施することは考えていません。</p>
(1)建設地の選定 [岐阜大学医学部等跡地での建設に賛同]			
72	50	<p>岐大医学部等跡地への移転に賛成する。</p>	<p>学識経験者等で構成する策定委員会による検討、さらにパブリックコメント等を経て平成 22 年に策定した「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」では、第 2 期整備施設として行政施設を想定し、また昨年 11 月から審議が進められた「岐阜市庁舎のあり方検討委員会」でも、岐阜大学医学部等跡地が最適とする答申をいただきました。</p> <p>こうした経緯を勘案し、本市でも岐阜大学医学部等跡地が最適であると考えます。</p>
73	50	<p>新庁舎を移転することは良いし、その移転先の司町も良い。</p>	
(1)建設地の選定 [現庁舎敷地での建設が望ましい]			
74	50	<p>市庁舎は、現在の土地に建て替えるのが、利便性から言って、もっともふさわしい。</p>	<p>現庁舎敷地で建替える場合は、西側駐車場に新庁舎を建設することになりますが、現庁舎敷地と岐阜大学医学部等跡地の施工上の優劣を比較して（基本計画 P48）、本市は岐阜大学医学部等跡地が最適と考えました。</p> <p>一方、新庁舎が中心商店街から遠くなることでダメージを受けるという懸念に対しては、当地はメディアコスモスと新庁舎で多くの人々が集まる場が新たに生まれることとなりますので、その方々に柳ヶ瀬等を訪れていただけるよう、柳ヶ瀬のまちの魅力アップとともに回遊性の向上を図ることが重要と考えます。</p> <p>なお、新庁舎の移転先は中心市街地活性化基本計画区域内であるため、本市総合計画のまちの姿や、都市計画マスタープランの将来都市構造に示された集約型の市街地形成（コンパクトシティ）とは整合が図られていると考えます。</p>
75	50	<p>市役所が岐大跡地に移転することで、まちなかの歩行者は大きく減少し、まちが分断され、中心市街地の商店は大きなダメージを受けることが想像されるため、現地建替えが望ましい。コンパクトシティ構想にも反するものである。</p>	

(1)建設地の選定 [その他移転先の提案]			
76	50	移転先は、高島屋南地域又は文化センター・金公園に移転すべきと考える。岐阜市が発展していくためには中心市街地にビジネス街の形成が必要だが、岐阜駅から文化センター・金公園まではビジネス街となって残る可能性が高い。	建設地の選定にあたっては、中心市街地及びその周辺で評価対象地となりうる場所（6か所）から検討しました。その中には、文化センター・金公園、岐阜駅周辺の市街地再開発ビルも含まれていましたが、それらを相対比較した結果、現庁舎敷地と岐阜大学医学部等跡地が抽出されました。さらに、その2か所について施工上の優劣を比較した結果、本市では、岐阜大学医学部等跡地が最適と考えました。
77	50	市民文化センターを改築し高層庁舎を建てる。	
78	50	市の中心が岐阜駅に向かって発展しているのに、新庁舎は現庁舎の北側に建設しようとしているため、逆行している。	
79	50	岐阜市は、町村合併で南進へ発展し、さらに県庁や中央卸売市場なども南部へ移転した。経済活動が活発なのは南部である。将来の南進を見据えて市役所の移転先を考えるべき。全国の傾向からしても、駅に併設、駅近くや繁華街に市役所を建てるのが多い。	
80	50	市庁舎の建設予定地を2か所準備し、一方は市庁舎を建築し、もう一方は緑地公園として保存する。そして、それが取壊しの対象となる50年後には場所を入れ替え再度市庁舎を建築するという、式年の計画にしてはどうか。	
81	50	庁舎機能を中心市街地に分散させまちなかのにぎわいを取り戻す事例もあり集約化を見直す必要がある。	
			一般的に分散型よりも1か所に集約して建設する方が効率的であるといえます。 また、現在、本庁機能が本庁舎、南庁舎など5か所に分散し、市民の皆様にご不便をおかけしておりますので、新庁舎建設を機に本庁機能を集約し、市民の利便性向上を実現したいと考えます。

(1)建設地の選定 [岐阜大学医学部等跡地での建設は不適切（他用途にすべき）]		
82	50	建設地は、金華山等が眺望できるなど、ゆたかで気持ちのよい風景であり、美江寺観音、市民会館とともにまちによい空間をつくっている。また、樹木が多く緑豊かな散策のできる“みんなの森”に隣接する当地は、子供たちの遊べる公園にしてほしい。
83	50	司町の建設地は、中心市街地居住者が散策する公園にするか、何らかの施設誘致であれば図書館とミスマッチしない教育関連法人が良いと思う。
84	50	図書館と庁舎に多くの人々が訪れるとの説明がありましたが、庁舎に来た人を図書館に流れるようにするためには、近くに700~800人規模の文化ホールをつくとよい。図書館と文化ホールそこに集う人たちの流れをどう作るかが、まちづくりの基本であり、岐大跡地の当初のコンセプトに沿っている。
85	50	「現庁舎敷地に建設を否定」は結論ありきの感がします。現在の敷地内でも建設するために、規模の縮小もあり得ると考えます。 また、「岐阜大学医学部跡地」の様な「素晴らしい土地」は、岐阜市民が皆でもっと検討して「岐阜市のベストな使い方」をして欲しい。
(1)建設地の選定 [建設地及びその周辺のみちづくり、市街地活性化]		
86	50	岐大跡地を中心としたまちづくりを描くべきと考える。まちの動線も改善すべきところが多いと思うが、利便性や災害時の動線が現況と比べどう変わるのかの検証も進めていただきたい。
87	50	にぎわい創出や中心市街地活性化については、もっと具体的な方策を検討してもらいたい。
88	50	建設地は駅前、繁華街から遠く離れている立地条件から、集客効果を図るためにはそれなりの工夫が必要。例えば、新庁舎と周辺施設を一つのコミュニティと捉え、一種のテーマパーク的な思想による面的な考え方が必要になる。

岐阜大学医学部等跡地は、中心市街地に残された貴重な一団の土地であることから、多くの市民の皆様にご利用いただく市庁舎建設の敷地として活用することは最適と考えます。  
なお、隣接する「みんなの森 ぎふメディアコスモス」をはじめ、周辺景観との調和には十分配慮しながら、建設を進めます。

中心市街地活性化基本計画では、「岐阜駅周辺」と「岐阜大学医学部等跡地」で生まれるにぎわいを「柳ヶ瀬」へ波及させ、中心市街地全体の活性化を目指す戦略を描き、また、それを実現する具体的事業を盛り込んでいます。  
新庁舎建設にあたっては、その戦略に即して事業を進め、中心市街地活性化につなげていきたいと考えています。

(3)庁舎周辺の動線計画			
89	53	メディアコスモス、新庁舎のほか、周辺の施設を駅前と同様に歩道橋（ペデストリアンデッキ）で連結することで、歩行者の安全で円滑な通行が可能になる。また、それら施設を一帯と捉え一つのコミュニティとして認識しやすくなるために、デザインにも配慮するとより効果的である。	周辺の公共施設等との動線については、歩行者等が安全、快適に歩けるよう、必要に応じて交通安全施設、サイン等の整備を行っていきたいと考えています。
90	53	美江寺公園も（新庁舎等と）同じ敷地内にあるように活用できれば、コミュニティの場を広げることができ、既存施設の再生につながる。	美江寺公園は、新庁舎に近接して立地していますので、憩い・にぎわい広場とともに、来庁者にやすらぎやうるおいを与える空間として活用できると考えています。

### 3 駐車場の規模

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
91	55	岐大医学部跡地の場合、駐車場を確保できるか。	<p>現在、来庁者用駐車場は約 270 台分ありますが、時期によっては混雑し利用者にご迷惑をおかけしています。そのため、新庁舎では 390 台分を整備し、混雑の解消を図る計画です。</p> <p>なお、駐車場の形態については、立体駐車場を考えています。</p>
92	55	来庁者用駐車場について、（場内は）一方通行にすること、出入口を分離して間口を広くすること、隣接する道路は幅広であること等により、道路での混雑解消が可能となる。	
93	55	駐車場は、取壊しに簡単な鉄骨、鉄板の 2 階建とし、できれば屋根をつけて太陽光発電装置を設置してはどうか。	

## 第6章 新庁舎の事業費、事業手法及びスケジュール

### 1 想定事業費等

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
(1)事業費			
94	57	建設費が高すぎる、積算根拠の開示と公正な入札制度の確立が必要。	事業費約 200 億円の内訳は、新庁舎本体工事費で約 160 億円、その他事業費で約 40 億円を見込んでいます。このうち、本体工事費は、近年新庁舎を建設した都市の建設単価を参考に算出しています。しかし、上記内訳を計画案に示していませんでしたので、それを追記します。
95	57	予算 200 億円は圧縮できるはず。基金を 110 億使わず残すことも考えるべき。	
96	57	富山市と比較すると、単位面積当たりの単価では、岐阜市の計画は富山市の 157% であり、5 割以上増しの計画で、富山市と同様の単価に置き換えたとしたら、約 127～130 億円となるので、基本計画を見直すべき。豪勢な建設は市民の意思の反している。	
97	57	新庁舎建設に係るコストや規模は、最低限かつ最大の効果を発揮するよう、立案、実行してもらいたい。	
98	57	事業費は、市職員を信頼しているので、県下No.1の庁舎を建設して下さい。	
(2)財源〔合併特例債〕			
99	57	合併特例債は、当該金額がそのまま普通交付税として国から交付されるわけではなく、財源保障について過信すべきではない。 よって、合併特例債の活用が市の財政負担の「大幅な軽減」につながるの表現は、誤った判断に繋がる危険性があり改めるべき。 合併特例債も市債であり、その活用は優先度や緊急性を十分精査のうえ、真に必要な事業に限定すべき。	合併特例債について、普通交付税の交付額が、現在の岐阜市の場合は基準財政需要額と基準財政収入額との差額の 2 割弱の額であること、及び国の財政事情に左右されることから合併特例債の活用により増える額は 63 億円とはいえないとする見解があります。 しかし、合併特例債の元利償還金の 7 割が基準財政需要額にそのまま加えられ、その需要額から基準財政収入額を差し引いた額が普通交付税の決定額として本市に入ってきます。90 億円を借り入れた場合、将来的にその 70% に当たる 63 億円とその利息相当分が需要額に反映されることは間違いなく、一般の市債が後年度、全て市税で賄わなければならないのに比べますと、合併特例債は元利償還金の 70% が、地方交付税において算定され後年度に措置されますので、将来の市民負担軽減という点において非常に有利な財源であるといえます。
100	57	合併特例債 90 億円は本当に岐阜市民の負担とならないか。	
101	57	特例債を強調して市民をあおるような方法は良くない。基金を積み増せば数年で 200 億円になる。	
102	57	合併特例債についても我々の税金であることを忘れたかのごとく、市の力であつたように言っている。	
103	57	基金も特例債もすべて税金であり、この多額の出費には絶対反対です。	

104	57	合併特例債があるから岐阜市の負担は少ないというが、合併特例債分も税金である。みんな将来のツケだ。
105	57	合併特例債は不確定な部分もあり心配。岐阜市の身の丈にあった予算で建設すべきである。

### 3 事業スケジュール

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
106	59	建て替え時期だからといって補助金頼みで建設を急ぐ事には反対です。じっくりと検討して欲しいものです。	南海トラフ巨大地震の発生確率が 30 年以内に 70%程度といわれている大地震への備え、老朽化、バリアフリーになっていない、狭あいなど現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の大幅な軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期に新庁舎を建設することが最良であると考えています。

## 第7章 今後の検討課題

### (2) 設計、建設過程での事業費圧縮の取り組みの推進

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
107	60	将来世代への建設費負担を軽減してほしい。	計画案では、事業費を約 200 億円と想定していますが、標準品、汎用品の積極的な採用など、最小限のコストで建設できるよう進め、将来世代の負担軽減に努めます。
108	60	少子高齢化が進むので、数少ない子孫に負担をかけないよう、今建設すべき。	
109	60	200 億円の予算も、節約できる方法を考えるべき。	
110	60	合併特例債も元をただせば国民の税金が財源であり、少しでも事業費を抑えるべきだと考えます。	
111	60	合併特例債の使用に関し、それも市民の借金であることを意識してほしい。国の多額の借金が国民の不安につながっており「使うお金の総額」を抑制するべきだ。そしてお金を残し、後々発生する現庁舎跡地利用、インフラ老朽化対策等に活用すべきである。	

(4) 現在の本庁舎の跡地利用の検討

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
112	60	（現庁舎の）解体後は何になるのか、その予定を知りたい。早めに市民に知らせるべき。	<p>現庁舎敷地は、市中心部に位置し、岐阜駅周辺、柳ヶ瀬周辺及び岐大医学部跡地周辺を繋ぐ、中心市街地のにぎわい創出において極めて重要な場所であると考えています。その整備事業の着手は、現庁舎解体の約 10 年後と見込まれますので、未利用期間が生じないよう、更地のままにしておくことがないようにしなければいけません。</p> <p>市民の皆様のご意見をお伺いしながら、にぎわい創出や公共施設配置の見直し等様々な観点で検討を進めてまいりたいと考えています。</p>
113	60	計画案には、本庁舎解体の記述は存在するが、現庁舎（本庁舎及び他の庁舎）の跡地利用は（具体的に）全く考慮されていない。かつての郵便本局や岐大医学部等跡地と同様、市が後始末への責任を負わされ、困惑することになる。	
114	60	移転先が岐大跡地が効果的だとする内容は理解できるが、その跡地について今後の検討課題にとどめており、何をどう検討するのか方向付けが成されていない。全体構想を示してほしい。	
115	60	現市庁舎を取り壊した後に、どんな箱モノを作るつもりなのか。跡地利用計画を決定し、その事業費も確定させてから（新庁舎を）審議してもらいたい。	
116	60	本庁舎移転後、本庁舎以外の建物を再利用する方法はないか、にぎわいまちづくりの中で現庁舎の役割を検討してきたと思うが、その観点からどうか。	
117	60	現在あるいくつかの庁舎はどのように使われるのか、計画案を提示していただきたい。	
118	60	跡地には、高層ビルを建設して柳ヶ瀬の商店街を入れ、最上階はアウトレットを誘致し、メディアコスモス、現庁舎跡地、柳ヶ瀬、駅前へと（人の）流れをつくるのが最善である。柳ヶ瀬は住宅地にし、若者に多く住んでもらうようにする。	
119	60	現庁舎跡地には、岐阜中央郵便局に戻ってきてもらうのはどうか。事務処理機能を南庁舎跡地、流通機能を本庁舎跡地にすると、駐車スペースも十分で空き地にならなくて済むと思う。	
120	60	現庁舎の跡地は、市民文化ホールでなく若者の活動拠点となるような建物が良いと思います。	

121	60	新庁舎の建設で不要となった(現庁舎の)土地建物はすべて売却し、建設資金に充てる。
-----	----	--

(5) 中心市街地活性化施策との連携

No.	頁	ご意見(要旨)	岐阜市の考え
122	61	近隣商店街対策、跡地問題等検討の余地あり。	<p>本市では、中心市街地や柳ヶ瀬の活性化は喫緊の課題と認識し、国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画に基づき、様々な施策を推進しています。当該計画においては、柳ヶ瀬のまちの魅力向上と合わせ、岐阜駅周辺と岐大跡地周辺のにぎわいを柳ヶ瀬に波及させ、中心市街地全体の活性化を目指すことを基本的な考え方としています。</p> <p>岐阜大学医学部等跡地には、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と「新庁舎」が建設され、中心市街地に市内から多くの人々が集まる場が新たに生まれることとなります。当地へ集まる方々に柳ヶ瀬等を訪れていただけるよう回遊性の向上を図ることが重要であると考えておりますので、中心市街地活性化基本計画に則り、施策を推進してまいりたいと考えています。</p>
123	61	岐阜市の中心市街地において、岐阜市役所が他の市施設・市有地をどのように活用し、人口減少の時代に岐阜市がどのように機能していくかを市民に提示すべき。中心市街地活性化法との整合性を持って岐阜市の中心市街地をいかにデザインして行くのか、具体的なプランをまず提示してほしい。	
124	61	岐大跡地から柳ヶ瀬へののにぎわいの波及に具体性が乏しい。アクセシビリティだけでなく現庁舎跡地に集客施設の計画が必須でないか。	
125	61	大学病院跡地で生まれたのにぎわいを柳ヶ瀬はじめ中心市街地全体に波及とありますが、そんなことではのにぎわいを作れないと考えます。	
126	61	柳ヶ瀬商店街への人の流れについての具体策を示し理解を得るべき。	
127	61	関市庁舎が、中心街の本町から若草通(約1km北)に新築移転したら、中心市街地が衰退した。	
128	61	豪華新市庁舎が司町にできれば、職員食堂は完備、職員駐車場は無料だろうから、柳ヶ瀬、神田町、今沢町界隈はゴーストタウンになる。 税金で報酬給料をもらう市職員、市議会議員は快適なところに居住できるが、一般市民は地震で壊れる住宅に居住するしかない。	

(6) 周辺景観との調和への配慮

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
129	61	大学病院跡地も、ぎふメディアコスモスの南側に建てたらみんなの森の開放感は失われます。	<p>新庁舎の建物形状は、建物の影が「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「憩い・にぎわい広場」の日照へ及ぼす影響を抑えながら、新庁舎に必要な延床面積を確保するため、低層部と高層部で構成された建物を想定しております。仮試算で高層部は最大で 20 階程度になると想定していますが、現時点では階数は決定していません。</p> <p>今後、設計段階において、岐阜市庁舎のあり方検討委員会の答申や市民の皆様のご意見も踏まえながら、日照への影響や周辺景観との調和に加え、関係法令による規制や市民の皆様の利便性、さらには建物の機能性や経済性など様々な要素を考慮しながら決定してまいりたいと考えています。</p> <p>なお、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」については、設計業務の発注の段階で、その南側に第 2 期整備施設として高層の行政施設が想定されておりましたので、その点を踏まえた設計であるとと考えています。</p>
130	61	大学病院跡地に市庁舎を建設すると、メディアコスモスの特徴である陽光そそぐ市民の憩いの場とはなくなる。	
131	61	図書館の南に新庁舎を建てると「みんなの森」が影になってしまう。	
132	61	仮に市庁舎が建つと、冬は、図書館前の芝生は完全に日陰になるだけでなく、図書館本体も陰になる。そして何より景観を損ねる。外観を誇る「マンモス図書館」が、全く目立たない存在になり、影の薄い、つまらない建造物に変貌する。	

A. 計画案への賛否に関するもの

(1) 賛成

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
133	-	新庁舎建設基本計画に賛成する。	<p>南海トラフ巨大地震の発生確率が 30 年以内に 70%程度といわれている大地震への備え、老朽化、バリアフリーになっていない、狭あいなど現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の大幅な軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期に新庁舎を建設することが最良であると考えています。</p> <p>こうした本市の考えを市民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に進めてまいります。</p>
134	-	新庁舎が計画通りに建設されることは市民としての願望なので、合併特例債の活用期限までに必ず完成させてほしい。	
135	-	新庁舎は大賛成である。	
136	-	市庁舎を建設するのは良いと考える。	
137	-	新庁舎建設に賛成です。	

(2) 反対、白紙撤回

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
138	-	新庁舎建設に係る諸事業の中止を求める。	<p>南海トラフ巨大地震の発生確率が 30 年以内に 70%程度といわれている大地震への備え、老朽化、バリアフリーになっていない、狭あいなど現庁舎が抱える諸課題の抜本的な解消、さらには市の財政負担の大幅な軽減や財政運営への影響といった様々な観点から検討した結果、国の支援（合併特例債）が受けられる今の時期に新庁舎を建設することが最良であると考えています。</p> <p>こうした本市の考えを市民の皆様にご理解いただけるよう丁寧に進めてまいります。</p>
139	-	新庁舎建設に絶対反対。	
140	-	基本計画を白紙撤回し、改めて市の全体像を示し、市民参加の中で何を優先していくかが第一義的に考えることである。	
141	-	新市庁舎建設基本計画に基本的に反対します。市長は、大学病院跡地に市立図書館と文化ホールの新設を公約として就任されており、市議会でも新しい劇場建設の請願が議決されている。大学病院跡地には図書館に続いて文化ホールを優先して建設することを望みます。	<p>学識経験者等で構成する策定委員会による検討、さらにパブリックコメント等を経て平成 22 年に策定した「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」では、第 2 期整備施設として行政施設を、第 3 期整備施設として（仮称）市民文化ホールをそれぞれ想定しています。</p> <p>なお、同基本計画では、（仮称）市民文化ホールを現庁舎敷地で整備することを位置づけ、これが現庁舎敷地利用の一つの候補ではありますが、その利用のあり方については、今後様々な角度から検討していきます。</p>

## B. 新庁舎建設の検討経過に関するもの

### (1) 検討プロセスが早すぎる

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
142	-	市役所を建てたいと、かなり強引に進めようとしているように思える。	<p>新庁舎建設の検討は、平成 16 年からの岐阜大学医学部等跡地利用の検討に合わせて始めました。</p> <p>平成 22 年 10 月には「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」を策定し、この中で、第 2 期整備施設として行政施設が想定されました。</p> <p>昨年 11 月には「岐阜市庁舎のあり方検討委員会」を設置し、新庁舎建設の必要性から白紙で検討していただき、本年 7 月 30 日に「新庁舎の建設が必要」との答申をいただきました。</p> <p>なお、これまでテレビ、ラジオ、広報ぎふや市ホームページ等で検討状況を逐次お知らせするとともに、市民説明会、市民アンケート、パブリックコメントの実施を通じ、市民の皆様のお考えをお聞きしてきました。</p> <p>これらの過程を経て、今回「新庁舎建設基本計画（案）」を作成しました。したがって、この内容について引き続き市民の皆様のご理解が得られるよう丁寧に進めてまいります。</p>
143	-	事業計画の賛否、意見集約が不十分。合併特例債の活用を前提とした拙速な計画をやめるべき。	
144	-	合併特例債を見送ってでも数年かけてよりよい適地を選定すべき。性急に強引な手法で決めることはやめて、ゆっくりと進めることこそ百年の大計にふさわしい。	
145	-	岐阜市庁舎のあり方検討委員会は 1 年もかからず策定している。この計画は、初めから医学部跡地に建てることを前提に、それに向けて突き進むための道筋づくりをしようとしている。	
146	-	岐阜大学医学部等跡地に建設するということは、出来レースのようだ。	

## (2) 市民意見の集約が不十分

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
147	-	拙速に決定しないで十分市民の声を聞き入れ進められることを望む。	<p>庁舎建替えは、岐阜市百年の大計といえる重要な事業であり、市民の皆様のご理解や合意形成を図ることが極めて重要と考えています。</p> <p>そのため、本市では、市民の皆様や外部の専門家のご意見も伺いながら進める「パブリックインボルブメント」を積極的に実施してきました。</p> <p>その主なものとしては、平成 16 年には岐阜大学医学部等跡地利用に関する市民意見の募集や跡地利用検討委員会の設置、平成 22 年には跡地整備基本計画（案）に関するパブリックコメントの実施、そして昨年 11 月には、岐阜市庁舎のあり方検討委員会の設置を行いました。また、あり方検討委員会での審議と並行し、市民説明会や市民アンケートの実施、今年 5 月からは随時意見を募集するなどしてきました。</p> <p>このように、様々な機会を通じて市民の皆様のご意見を伺ってまいりました。</p>
148	-	反対の声がなければ原案どおり、という安易な考えではなく、多くの市民の声をきく努力が必要。	
149	-	わずか 60 数件の意見で市民全体の声を反映しているとは言えない、幅広い市民が意見を出しやすい環境をつくること。これでは説明を十分に尽くして市民の了解を得たことにはならない。	
150	-	岐阜市の中心街柳ヶ瀬や神田町通りの商店街の人達の声を聞こうとしていない。	

## (3) 岐阜大学医学部等跡地の整備順序への意見

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
151	-	図書館を先に建設する必要があったのか。市庁舎建て替えが先になるべきだと考える。	<p>平成 22 年策定の「岐阜大学医学部等跡地整備基本計画」において、1)市民意見等で要望が高い施設である、2)教育立市を標榜する中で児童・生徒等の学習支援、生涯学習の充実等に大きく貢献する施設である、3)中心市街地のにぎわいを創出するうえで集客性の高い施設である、などの理由から、図書館（ぎふメディアコスモス）が第 1 期整備施設に位置づけられました。</p>

(4) 市民説明会の進め方等への意見

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
152	-	市民説明会に参加者がもっと集まる方法、PRする方法を考えるべきである。	パブリックコメント及び市民説明会については、一人でも多くの方に参加していただけるよう、広報や周知には様々な方法や機会を活用しました。具体的には、広報ぎふ8月15日号に見開き2ページの特集を掲載し、同日に放映された市の広報テレビ番組内でも紹介いたしました。 さらに、自治会連絡協議会に各連合会を通じて地域住民の方々へお知らせいただけるようお願いするとともに、市ホームページへの掲載や報道機関への情報提供などを行いました。
153	-	説明会についていえば、本当に市民の声を聞きたいのであれば、もっと市民に声をかけて参加を募るように取り組むべきである。	
154	-	市民説明会で、「市民は市の説明に納得しない」との発言があったが、私は違う。期待しています。	

C. 新庁舎建設以外に関するもの

No.	頁	ご意見（要旨）	岐阜市の考え
155	-	柳ヶ瀬の発展は、都市周辺で巨大商業化が進められる中であっては望めない。そこで、観光都市、学術都市、小規模ながらの精密工業化都市としての発展に期待をかけるべきである。	いただいたご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。
156	-	市は財政健全化を進めてきたというが、市内電車を廃止してまちを寂れさせ、何もしなければ一般会計は悪くならないだろう。他方で、うかいミュージアム、新庁舎…と悪しきハコものは続く。	
157	-	平成の市町村合併では、岐阜市は、既得権益のすべてを放棄してでも、周辺市町村との合併を成功させるべきだった。それが実現していれば、今回の新庁舎建設の規模、内容とも大きく変わっていただろう。	
158	-	公共施設の耐用年数から更新時期が到来することは理解が得られると思いますが、市民会館をはじめ他の中心市街地の公共施設のグランドデザインも市民の皆さんに示すべき。	

159	-	川北からJR駅までトラムを整備する。世界の活気ある町にはほとんどある。
160	-	岐阜市が成熟した観光都市を目指すのであれば、いとも簡単に路面電車を廃止するなど絶対にやってはいけなかった。近隣市町村と鉄路で結ばれるということは、その地域の住民と強い共同体意識の「絆」で結ばれることもある。
161	-	岐阜市が観光都市として求められるのは、安定して永久的に観光客を呼び込める新しい観光の目玉と街並みづくりであり、そのキーワードは「水」「緑」「芸術」「花」と考える。財政事情が良くない中であっては、時間をかけ着実にまちづくりを進めることが肝要である。
162	-	柳ヶ瀬が衰退したのは、柳ヶ瀬住民のエゴ、市民の柳ヶ瀬に対する無理解・無関心、行政の失政と無策の3つがあげられる。活気を取り戻す起爆剤としては「無料大駐車場」と「愛知芸術劇場並みの劇場」をつくり、芸術文化都市を目指すことが考えられる。
163	-	うかいミュージアムについて、本施設を継続して大勢の人が訪れるためには、市民のリピーターを増やすことが必要。そのため、格式とグレードアップのために、地元を代表する作家による「鶺鴒及び鶺鴒飼」の巨大な日本画、油彩画、水墨画、彫刻作品等の展示を考える。また、リピーターを増やすため、無料駐車場の実現とともに、「生き物」「子ども」「若い女性」がキーワードとなる。
164	-	達目洞に昔ながらの逆川と水田風景を残しつつ、バラとアジサイを基調とした「ターシャ・チューダのミニチュア・パーク・ビレッジ」をつくれれば、岐阜市観光の新たな目玉ができると考える。
165	-	魅力あるまちづくりをするには、官が「箱物」をつくるにしても、建設場所はもとより、規模、内容、デザインに至るすべてが「岐阜市の都市計画の基本理念」に沿ったものでなければならない。司町の開発がこれに基づいているのか些か疑問に感じる。

166	-	岐阜市の都市計画の基本理念として「香り高い芸術、文化と自然豊かな花と緑の観光都市を目指す」と考える。公共施設を改築、新設する場合は、この理念に基づき、市の管轄外である国・県にも協力を要請しなければならない、
167	-	駅前再開発について、アパート、マンション群の開発ではなく、駅前に降り立った時、市民も観光客も「ああ、ここは岐阜だ、岐阜の匂いがする」と思える街並みをつくってほしい。また、開発を進めるにあたっては、名鉄とJRの一体的開発が必要不可欠であった。
168	-	岐阜公園、金華山のトイレは世界一汚く、臭い。公園付近の改良をすべき。
169	-	岐阜公園の駐車場が不足している、公園総合案内所の位置に目立つ5階建ての駐車場を建て、看板も目立つように改修すべき
170	-	駅前から北に延びる金華橋通りと長良橋通りの歩道をバラで埋め尽くし「〇〇の径」「××の小径」として散策道路にしたい。なお、司町の開発で1つだけ評価できるのは、せせらぎの並木テニテオを設けたことである。
171	-	災害に備え、河川改修に予算を充てるべき。
172	-	現在の市民会館を取り壊し、市民会館と文化センターを一体にした施設をつくるとともに、明德小学校跡地をコンサート開催時に臨時駐車場として利用できるようにすれば、多くの人が周辺地域から来ることも可能だと思う。
173	-	日本は「物欲」から「精神的豊かさ」を求める国に変わらざるを得ないが、岐阜市は昔ながらの伝統工芸、芸妓・舞妓の芸能や絵画芸術があるなど、物質文化から精神文化へと変わる未来を先取りする資質とチャンスを持つ。そこで、子供達には「自然と共生し、芸術文化を愛し、楽しむ」日本の文化を教え込まねばならない。
174	-	近所付き合いがうまくいかない。

175	-	<p>図書館をつくるなら、私なら、建物はレトロな和風木造建築にし、蔵書は時代ごとに分類した書籍、童謡などの音楽資料、電子書籍などを収蔵し、木のぬくもりのある部屋でゆっくり楽しめるなど、他市とはひと味違う特色あるものにする。</p>
176	-	<p>図書館は長良川より北部に建ててください。</p>